別記様式第24　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　①

|  |
| --- |
| 非常電源（高圧又は特別高圧で受電する非常電源専用受電設備）試験結果報告書試験実施日　　　　　年　　　月　　　日　試験実施者　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　住　所　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　氏　名　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 |
| 消防用設備等の別 |  |
| 使用区分 | 共用　　　　　　　　　（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 消防用設備等のみに使用 |
| 受電方式 | 　　　　Φ　　　　Ｗ　　　　Ｖ　　　　Hz　　　　容量　　　　ｋVA |
| 主遮断装置 | 定格遮断電流 | ｋA | 定格電圧 | Ｖ |
| 種別 |  | 定格電流 | Ａ |
| 高圧交流負荷開閉器 | 定格電圧 | ｋV |
| 定格電流 | Ａ |
| 高圧カットアウトスイッチ | 定格電圧 | ｋV |
| 定格電流 | Ａ |
| 変圧器 | 容量 | ｋVA | １次･２次電圧 | Ｖ／　Ｖ |
| 種別 | 油入　乾式　その他 | 使用区分 | 専用　共用（　） |
| コンデンサ | 容量 | ｋVA | 定格電圧 | Ｖ |
| 種別 | 油入　乾式　その他 |  |  |
| 試　　　　験　　　　項　　　　目 |  | 結果 |
| 外　　　　　　観　　　　　　試　　　　　　験 | 設置場所等 | 設置場所 |  |  |
| 不燃専用室・機械室等　　 | 換気設備 | ――― |  |
| 有効な防火区画 | ――― |  |
| 防水措置 | ――― |  |
| 出火防止･延焼拡大防止 | ――― |  |
| 照明設備の有無 | ――― |  |
| 標識 | ――― |  |
| 構造・性能 | ――― |  |
| 保有距離（ｍ） |  | 保有距離を確保しなければならない機器等の部分 | 前　　面 |  |  | の　　面 |
| 　機器名 |
| キュービクル式 |  |  |  |  |
| キュービクル式以外 | 閉鎖型 |  |  |  |  |
| オープン式 |  |  |  |  |

非常電源（高圧又は特別高圧で受電する非常電源専用受電設備）　　　　　　　　　　　　　　②

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 試　　　　験　　　　項　　　　目 |  | 結果 |
| 外　　　　　　　　　　　　　観　　　　　　　　　　　　　試　　　　　　　　　　　　　験 | 設置方法 | 分岐方法 | ――― |  |
| 結線・接続 | ――― |  |
| 表示 | ――― |  |
| 耐震措置 | ――― |  |
| ※　絶　　　　　　 縁　　　　　　 距　　　　　　 離 |  | 高圧充電部 | 相互間 | 最小の距離　　　　　　　　　　mm |  |
| 大地間 | 最小の距離　　　　　　　　　　mm |  |
| 高圧用絶縁電 | 相互間 | 最小の距離　　　　　　　　　　mm |  |
| 大地間 | 最小の距離　　　　　　　　　　mm |  |
| 高圧充電部と高圧用絶縁電線非接続部相互間 | 最小の距離　　　　　　　　　　mm |  |
| 電線端末充電部から絶縁支持物までの沿面距離 | 最小の距離　　　　　　　　　　mm |  |
|  | 接　近対象物高圧屋内配　　線 | 低圧配線 | 高圧配線 | 管灯回路の配線、弱電流電線、水管、ガス管又はこれらに類するもの | ― |
| がいし引き配線 |  | がいし引き配線 |  |
| がいし引き配線（mm） |  |  |  |  |  |  |
| ケーブル配線（mm） |  |  |  |  |  |  |
| 構造・性能 | ――― |  |
| 機　 能　 試　 験 | 接地抵抗試験 | Ω（8P） |  |
| ※　 | 印加電圧　　　　　　　　　　　Ｖ |  |
| ※作動試験 | 保護継電器の作動状況 | ――― |  |
| 遮断器の作動状況 | ――― |  |
| 警報器の作動状況 | ――― |  |

非常電源（高圧又は特別高圧で受電する非常電源専用受電設備）　　　　　　　　　　　　　　③

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 試　　　　験　　　　項　　　　目 |  | 結果 |
|  | ※作動試験 | 計器用スイッチの作動状況 | ――― |  |
| 点検スイッチの作動状況 | ――― |  |
| 電圧の確立 | ――― |  |
| 備　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　考 | 試験実施者が有している資格： |

備考１　この用紙の大きさは、日本産業規格Ａ４とすること。

　　２　選択肢のある欄は、該当する事項を○印で囲むこと。

　　３　使用区分の（　　）書きは、共用している設備名を記入すること。

　　４　結果の欄には、良否を記入すること。

　　５　※印の試験は「キュービクル式非常電源専用受電設備の基準」（昭和50年消防庁告示第７号）（改正平成10年消防庁告示第８号）に適合している旨の表示が付されているものにおいては、当該設備に係る部分について省略することができる。

　　６　操作盤が設けられているものにあっては、操作盤についての試験結果報告書を添付すること。